

くまもと戦跡ネット出前平和講座

〈戦後80年・合志の戦争を知らう！〉実施計画案

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

- 1 活動名 **〈戦後80年 合志の戦争を知らう！〉**
～フィールドワーク、講話と戦時資料から戦争の実相と平和希求を学ぶ、
修学旅行事前学習～
- 2 日時 **令和7年10月21日（火）2～4時限 9時25分～12時05分**
- 3 場所 **合志市立合志楓の森小学校 体育館**
合志市栄3793番地5 TEL 096-245-6638
旧黒石原飛行場跡地
- 4 対象 **合志楓の森小学校6年児童 104名（3学級）**
※担当：6年部学年主任 福田ゆうこ先生、嶋田先生、岡田先生
- 5 講師 くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生
現地案内 合志の近代遺産を学ぶ会 上田 欣也・赤瀬 恵 様
現地解説 合志市生涯学習課 米村 大 様

6 日程・進行等

(1) 開会・挨拶・紹介 [9:25]

(2) 戦争に勝つために！「陸軍黒石原飛行場」のこと

[9:30～10:00]

ア 黒石原飛行場を知る！

合志楓の森小学校は「旧陸軍黒石原飛行場」
のなかに、あったってほんと！

- ☐ どうして黒石原に飛行場がつけられたの
- ☐ 民間パイロット等の養成学校「旧逓信省熊本航空機乗員養成所」とは
- ☐ 陸軍大刀洗飛行学校黒石原教育隊が開校した
- ☐ どのような訓練を、どんな人たちが受けていたの
- ☐ 飛行場に空襲はあったの、犠牲者はいたの
- ☐ 特攻隊はいたの、出撃したの



旧逓信省航空機乗員養成所での訓練

イ 空襲から、原爆投下へ！

- ☐ 黒石原飛行場への空襲 軍事基地・拠点施設へ
- ☐ 大規模都市空襲から中小都市、さらに地方都市へ
- ☐ 原爆投下目標 16地点と候補地の一つとなった「熊本」

ウ 進駐軍は「恵楓園」で何を見たのか！

「戦後進駐軍が何度も訪れた菊池恵楓園」

- ☐ 撮影は米第二海兵師団撮影クルー、意図は
- ☐ 恵楓園は、どう進駐軍と向いあったのか
- ☐ 全国の療養所で2例目となる、貴重な撮影映像
視聴 16^{mm}カラー映像の放映、白黒写真の紹介
(約9分間・音声無し)



戦後書かれた英字看板「菊池恵楓園」

(3) 休息・水分補給・準備 [10:00～10:10]

(4) 現地フィールドワーク [10:10～11:20]

- 学校 → 正門跡・奉安殿・国旗掲揚塔
- 教場棟・生徒舎棟基礎 → 方形水槽跡・一箇所
- 格納庫内コンクリート舗装部他 → 学校
- ☐ 上田様・高谷が現地では案内解説を行なう。
- ☐ 奉安殿・掲揚塔では、合志市米村様による説明



黒石原飛行場「奉安殿」見学の様子

(5) 戦時資料と暮らしの道具の紹介

～戦争の日常を身近に感じてみよう！～

[11:20～11:55]

体験1 戦時・銃後の婦人

6-0組・女子()

「もんぺはどんな着心地かな！ 動きやすい！ 防空頭巾で命は守れるの！」

○女性用もんぺ、上着、防空頭巾、雑嚢、防毒マスク、婦人会たすき 他

体験2 戦時の空襲

6-0組・男子もしくは女子()

「焼夷弾ってなに！ 落ちたらどうなるの！ 合志に空襲はあったの！」

○M69焼夷弾、紙の爆弾「伝単（でんたん）」複製

○空襲警報看板、警報サイレン、警防団アルマイト製鉄帽、紙製鉄帽、消火弾、灯火管制笠・電球 他

体験3 学用品から見る戦争

6-0組・男子もしくは女子()

「軍国少年・少女の育成に向けて！ 戦時色・柄にあふれた学校と生活！」

○紙製ランドセル、「修身」教科書、キンダーブック、筆箱、東郷鉛筆、東郷人形、王様クレヨン、画学紙、戦時柄画板 他

(6) 感想発表・謝辞・閉会

[11:55~12:05]

□長崎だけで戦争があったのではなく、身近な場所に「戦争の傷跡」が残されていることに気づく！

□空襲という戦争の究極が「原爆」投下！

□被爆地「ナガサキ」とのはじめての出会い！

紹介 『トランクのなかの日本』とローマ法王「平和のメッセージ」カード

□「NAGASAKI 平和な世界に向けて、絶対、二度と戦争をおこしてはいけない！」

7 その他

□長崎方面修学旅行は「11月4日・5日」である。

□平和継承リーフレット『黒石原飛行場と奉安殿』、黒石原奉安殿は、貸出しパネルで紹介

□A1版アルミフレームパネル「黒石原飛行場と奉安殿」他は、打合せ時に貸出

□児童・職員用に本会作成の平和継承リーフレット『進駐軍の見た熊本 II』『空襲下の熊本』『紙の爆弾 伝単』を提供する。

□フィールドワークでは、校外学習計画を作成し、事前に周辺部道路工事状況等を把握し、安全な往・復路を確認する。

□学校側で、見学先（教場棟・生徒舎棟基礎、方形水槽跡）への了解を事前にとっていただく。

□準備物：楓の森小：パソコン（パワーポイント入り）、プロジェクター、マイク、展示机、フィールドワーク用の屋外拡声器2台

□展示物：黒石原飛行場パネル等、陸軍防寒航空服一式、防空ずきん、戦時学用品他 約60点

□当日、高谷は8時半頃に来校し、会場を準備する。

□活動紹介のため、報道機関への連絡は、学校及びくまもと戦跡ネットの双方より行う

□ご取材の報道機関は、事前に「上田教頭」までご連絡ください。



令和6年度「出前平和講座」の様子 □「警防団制服と焼夷弾」体験 □「ちいちゃんのかげおくり」体験



連絡先

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生

□〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

□携帯 090-1513-5528

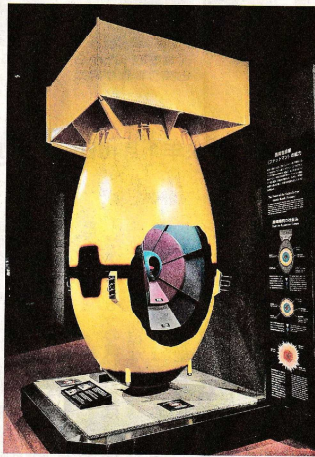
□メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp

□会HP <https://kumamoto-senseki.net/>

【核兵器】

この日のノーベル平和賞は、広島や長崎で原子爆弾（原爆）の被害にあった人たちがつくる日本原水爆被害者団体協議会（被団協）におくられます。「核兵器」をなくすよう、世界にうたえる活動がみとめられました。核兵器には原爆や水素爆弾（水爆）などがあります。原爆は、ウランなどの物質にある小さな原子核がわける反応を利用し、高い熱や強い爆風、強い放射線を出す兵器です。水爆は、原爆を使って水素などの原子核をむすびつけ、原爆より強大なエネルギーを出すおそろしい兵器です。

世界に今も 1 万以上…心配する声



長崎に投下された原子爆弾の模型
＝2015年、長崎市の長崎原爆資料館

に計約21万人が亡くなったとされます。戦後にはアメリカとソ連（今のロシア）が核兵器の開発をきそい、アメリカの水爆実験のため、太平洋で日本の海船員が放射性物質をあびる事件も起きました。

世界には今も1万以上の核兵器があり、各地で争いが続く、核兵器が使われる心配もあります。

ニュースの
ヒント

戦争被害 地域の遺跡に実感

合志楓の森小児童



奉安殿を見学する合志楓の森小の児童ら＝7日、合志市

修学旅行前「奉安殿」見学

合志楓の森小（合志市）の6年生約120人が7日、長崎への修学旅行を前に、地域に残る戦争遺跡を見学。身近な場所でも、戦争による被害があったことを学んだ。

同校は毎年、「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」の高谷和生代表（70＝玉名市）を招き、事前学習をしている。今回は初めて、学校周辺のフィールドワークを実施した。

児童たちは旧陸軍黒石原飛行場跡にある、天皇、皇后の写真や教育勅語を安置した「奉安殿」を訪問。高谷さんから「熊本県内では唯一、当時の場所に残る奉安殿」と説明を受けた。

また、高谷さんは、熊本再春医療センターの前身の「国立療養所再春荘」が米軍機の空襲を受け、職員6人が亡くなったと紹介。戦争による被害は、皆さんの近くでも起こっていた」と強調した。

谷川咲恵さんと徳永咲和さんは「戦争といえは長崎や広島と違っていたが、身近な場所にも戦争遺跡があることが分かった」と話した。修学旅行では26日、長崎市の平和公園や原爆資料館を見学する。